

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) **公開特許公報** (A) (11)特許出願公開番号

特開2002 - 125970

(P2002 - 125970A)

(43)公開日 平成14年5月8日(2002.5.8)

(51)Int.Cl⁷

識別記号

F I

テ-マ-コ-ト* (参考)

A 6 1 B 8/00

A 6 1 B 8/00

4 C 3 0 1

審査請求 未請求 請求項の数 1書面 (全 3 数)

(21)出願番号 特願2001 - 317410(P2001 - 317410)

(71)出願人 500370746

有限会社相互無線

神奈川県横浜市西区楠町4 3 藤和ハイタ

ウン207号

(22)出願日 平成13年9月10日(2001.9.10)

(72)発明者 小島 行正

神奈川県藤沢市白旗4丁目11番10号

Fターム (参考) 4C301 AA01 BB22 EE10 EE11 EE16

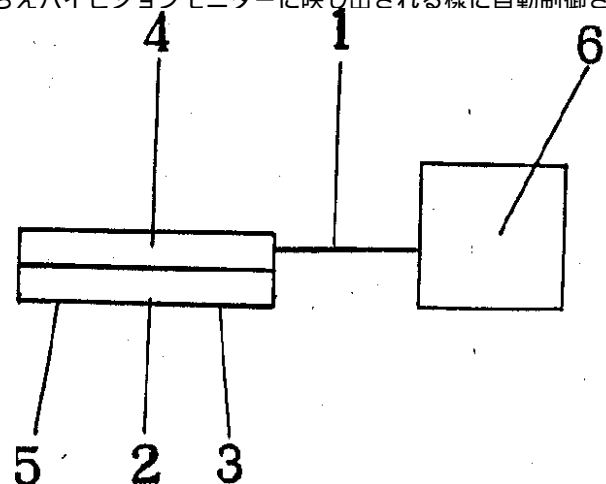
GB02 GC01 GC03 JB02 KK40

(54)【発明の名称】 高速超音波診断機は人体腹部内の相当部分を一度に診断、映像録画出来、超音波発振子多数ドット化配列デジタル化し反射波を確実にとらえハイビジョンモニターに映し出される様に自動制御されたエコーにか

(57)【要約】

【課題】高速超音波診断機は人体腹部内の相当部分を一度に診断、映像録画出来、超音波発振子多数ドット化配列デジタル化し反射波を確実にとらえハイビジョンモニターに映し出される様に自動制御されたエコーにかわる高速超音波診断機とする。

【解決手段】高速超音波診断機は人体腹部内の相当部分を一度に診断、映像録画出来、超音波発振子多数ドット化配列デジタル化し反射波を確実にとらえハイビジョンモニターに映し出される様に自動制御されたエコーにかわる高速超音波診断機である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】高速超音波診断機(1)は人体腹部内の相当部分を一度に診断、映像録画出来、超音波発振子(2)多数ドット化配列(3)デジタル化(4)し反射波を確実にとらえ(5)ハイビジョンモニター(6)に映し出される様に自動制御されたエコーにかわる高速超音波診断機(1)である。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は高速超音波診断機は人体腹部内の相当部分を一度に診断、映像録画出来、超音波発振子多数ドット化配列デジタル化し反射波を確実にとらえハイビジョンモニターに映し出される様に自動制御されたエコーにかわる高速超音波診断機である。

【0002】

【従来の技術】従来はエコー診断機に依って残像画として映し出されているのみである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】1. 一度に人体腹部内を広い範囲に超音波を用いて映像化しての診断を可能とする。

2. 超音波を電子化しデジタル方式にしてハイビジョン映像としてDVDに録画出来る様にする。

3. 人体と発振子の接触はワセリンシートを用い均一化する。

【0004】

【課題を解決する為の手段】イ：超音波発振子センサーを超小型化しパネル式とし広い範囲をカバーする。

ロ：超音波ドットを電子化しデジタルとしハイビジョン映像にて診断録画しカルテとする。

ハ：人為的にワセリンを塗るのではなくシート化し合理化*

*する。

【0005】

【作用】高速超音波診断機は人体腹部内の相当部分を一度に診断、映像録画出来、超音波発振子多数ドット化配列デジタル化し反射波を確実にとらえハイビジョンモニターに映し出される様に自動制御されたエコーにかわる高速超音波診断機である。

【0006】

【実施例】高速超音波診断機(1)は人体腹部内の相当部分を一度に診断、映像録画出来、超音波発振子(2)多数ドット化配列(3)デジタル化(4)し反射波を確実にとらえ(5)ハイビジョンモニター(6)に映し出される様に自動制御されたエコーにかわる高速超音波診断機(1)である。

【0007】

【発明の効果】高速超音波診断機は人体腹部内の相当部分を一度に診断、映像録画出来、超音波発振子多数ドット化配列デジタル化し反射波を確実にとらえハイビジョンモニターに映し出される様に自動制御されたエコーにかわる高速超音波診断機にて広範囲に利用出来、しかも短時間に合理的診断が可能となる。

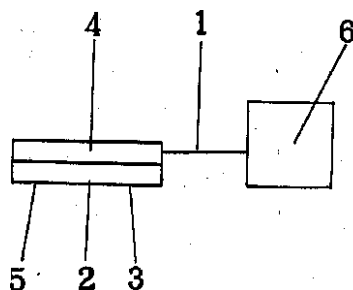
【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例系統図

【符号の説明】

- (1) 高速超音波診断機
- (2) 超音波発振子
- (3) ドット化配列
- (4) デジタル化
- (5) 反射波を確実にとらえ
- (6) ハイビジョンモニター

【図1】



- (54)【発明の名称】 高速超音波診断機は人体腹部内の相当部分を一度に診断、映像録画出来、超音波発振子多数ドット化配列デジタル化し反射波を確実にとらえハイビジョンモニターに映し出される様に自動制御されたエコーにかわる高速超音波診断機である。

专利名称(译)	高速超声波诊断机一次诊断人体腹部的大部分，可以记录图像，数字化超声波振荡器并将其转换成多个数字，确保反射波并确保反射回波自动控制，以便在HDTV监视器上显示这是一种快速超声诊断机。		
公开(公告)号	JP2002125970A	公开(公告)日	2002-05-08
申请号	JP2001317410	申请日	2001-09-10
申请(专利权)人(译)	有限会社相互无线		
[标]发明人	小島行正		
发明人	小島 行正		
IPC分类号	A61B8/00		
FI分类号	A61B8/00		
F-TERM分类号	4C301/AA01 4C301/BB22 4C301/EE10 4C301/EE11 4C301/EE16 4C301/GB02 4C301/GC01 4C301/GC03 4C301/GB02 4C301/KK40 4C601/BB05 4C601/BB06 4C601/EE07 4C601/EE09 4C601/EE13 4C601/GB01 4C601/GB03 4C601/GC01 4C601/GC02 4C601/JC40 4C601/KK50 4C601/LL15		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

要解决的问题：提供一种高速超声波诊断设备，能够同时诊断人体腹部的相当一部分并记录图像，数字化超声波振荡器多点阵列，自动捕获反射波，自动控制显示在高视力监视器上一种取代回声的高速超声波诊断机。摘要：一种高速超声诊断机能够同时诊断人体腹部的大部分，能够记录图像，在大量点数字化超声波振荡器，可靠地捕获反射波，并执行自动控制，以便在高视觉监视器上显示它是一种高速超声波诊断机，它取代了所产生的回声。

ト化配列デジタル化し反射波を確実にとらえハイビジョンモニターに映し出される様に自動制御されたエコーにか

(57)【要約】

【課題】高速超音波診断機は人体腹部内の相当部分を一度に診断、映像録画出来、超音波発振子多数ドット配列デジタル化し反射波を確実にとらえハイビジョンモニターに映し出される様に自動制御されたエコーにかわる高速超音波診断機とする。

【解決手段】高速超音波診断機は人体腹部内の相当部分を一度に診断、映像録画出来、超音波発振子多数ドット配列デジタル化し反射波を確実にとらえハイビジョンモニターに映し出される様に自動制御されたエコーにかわる高速超音波診断機である。

